

第 2 戦

FUJI GT 3Hours RACE

富士スピードウェイ

決勝 5月4日(月)

天候：晴れ コース状況：ドライ

2026年SUPER GTシリーズ第2戦は、5月4日に富士スピードウェイにおいて3時間の決勝レースが行われた。前夜から早朝にかけては強風を伴った大雨に見舞われたが、朝には雲も取れ富士山も雄大な姿を見せる晴天となった。この日だけで5万人、前日と合わせると8万人を超えるファンがサーキットに詰めかける中、大きなアクシデントもなくセーフティカー(SC)導入もないクリーンなレースが展開し、HYPER WATER INGING GR86 GTは17位スタートから5位まで大きく順位を上げフィニッシュ、11ポイントを加算した。

決勝：5位



4日は12時30分から20分間のウォームアップ走行が行われた。まずはト部和久がコースインし堤優威に交代。ベストタイムはトップとは0秒866差の1分38秒480と29台中7番手で、追い上げが期待できそうだった。

グリッドウォークを終え、気温24℃、路面温度43℃という14時ちょうどにパレードラップがスタート。14時6分にグリーンランプが点灯して3時間レースのスタートが切られた。17番グリッドからスタートしたト部は、混雑するオープニングラップで巧みにラインを選び13位まで順位を上げた。さらに2周目には12位へ順位を上げると5台による8位争いのグループに加わり、14周目にはトップ10入りを果たした。しかし目の前を777号車アストンマーティンに塞がれてしまった。25周目にクラストップ車両のタイヤがバーストしピットインしたことで、ト部は9位へ。さらにレーススタートから1時間が経過する前に早めのピットインを行うチームがあり、30周目には7位まで順位を上げることとなった。33周目によりやく777号車アストンマーティンをかわすと5位へ。そして42周でピットインして堤に交代した。

堤は10位でコースに戻るとペナルティを受けたチームやピットインした車両もあり、54周目には8位へ。スタートから2時間が経過した77周目には3位まで順位を上げて2回目のピットインを行った。ドライバー交代はせずピット作業もミスなく済ませ、堤は8位でコースに戻った。5位争いをする3台のグループとは25秒ほどの差があり、また9位の車両とは5秒ほどの差があった。その後2回目のピット作業を済ませていない車両が93周目までにピットインすると、堤は5位まで順位を上げ116周でチェッカー。結果的には12台抜き5位で11ポイントを加算した。

次のレースは6月20～21日に予定されていたマレーシアのセパンラウンドが今年の中東情勢の影響で開催されないこととなったため、8月1～2日の富士300kmレースとして開催される予定。

ドライバー 堤 優威



「スタート順位から考えたらすごく良い結果ですが、クルマのポテンシャルがあったので予選がもう少し前の順位だったら多分表彰台に行けたのではないのかなと思います。そこはチームとしてト部選手の予選の課題もあるので、今後クリアして行くことができれば、さらに良い結果につながると思います。今日できる限りのことはできたと思います。チーム全員の自信にもつながりましたし、良いレースだったのではないのかなと思います。次はサクセスウェイトが増え、燃料流量リストリクターが入るので厳しい戦いになると思うのですが、苦しい中でもしっかりポイントを取って上位ランキング争いができるよう頑張ります」

ドライバー ト部 和久

「スタート時の混戦は自分の強みでもありそこで絶対に順位を上げようと思っていましたが、位置取りもうまくいき順位を上げることができました。ただアストンマーティンに引っかかってペースを上げることができなかったのですが、その後は攻略できて抜いた後はペース良く走ることができました。僕のスティントではベストを尽くすことができたのではないかと思います。チームがすごく強い戦いをしてくれたこととタイヤ、ブレーキ、エンジニアリング、メカニック全部が噛み合ったというか、本当にチームスタッフ全員に感謝したいと思います。次も富士ですがしっかり準備して臨みます」



監督 加藤 寛規



「予選後のミーティングを活かして、うまくレースを戦えたのではないかと思います。ドライバーがオーバーテイクも見せてくれましたし、ペースもクルマも非常に良くミスもなく順位も大きく上がり、何とかこの位置(5位)まで来れたので非常に助かりました。内容の濃いレースだったと思います。セパン戦がなくなってしまったのは仕方のないことですし、今回良い流れの中で実はトラブルもあったので、それを見直す時間ができたのはチームにとって良かったのかなと思います。次のレースは夏の同じ富士なので、今回の反省点を生かしながらいち段階ステップを上げて戦いたいと思います」



HYPER WATER®

AGIP

BRIDGESTONE

TEG-D

ADVICS

AMU

金星工業

muta

トヨタ自動車

山崎製パン

ELLIHOMES

MOTUL

Mitsubishi

SUBARU

STONE ISLAND

pepsi

BARABARA ROSA

Okada

AGUILA

UHLIR

TMS

REPSOL

VIEWTEC